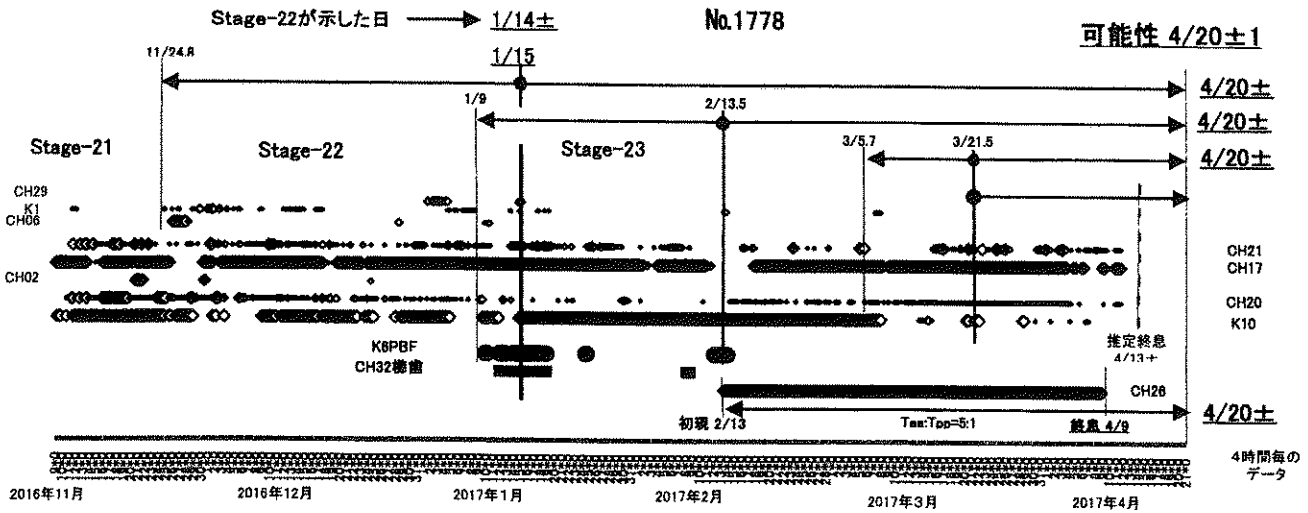


原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続前兆 全前兆完全終息＝約5時間しか継続せず
前兆再出現→直前特異ではなく、未だ前兆期間の可能性→4/20±可能性有

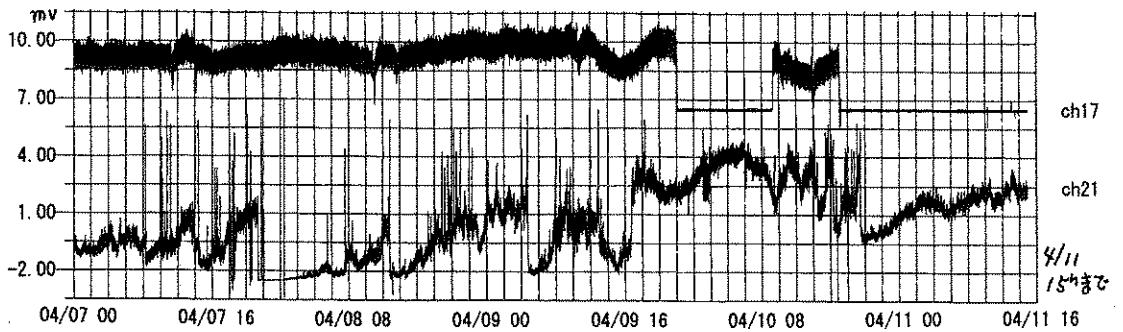


前情報で、2008年7月初旬から出現し、観測歴上最長に継続出現した前兆群＝No.1778前兆群が04月09日夕刻に終息した可能性を報告致しました。4/9.7終息が正しい場合、4/16±発生の可能性が計算されました。

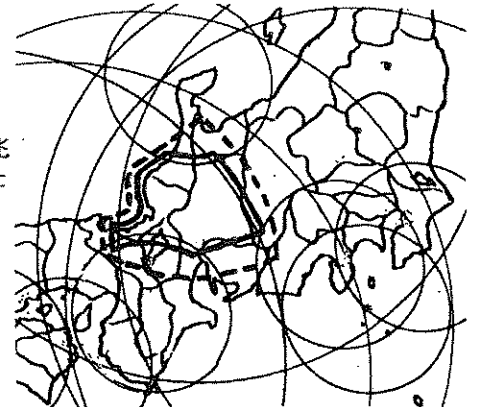
確かに4/9 17時頃より最後まで前兆が残っていたCH21は静穏基線に復帰しました

が、右上波形のとおり、静穏基線となっていたCH17が4/9 22時頃より再び断続的に糸状特異が再出現。CH21も4/10以降弱い不規則な特異前兆が出現しています。CH26, K10等は静穏基線で前兆再出現はありません。CH20も若干不安定。前兆極大に伴う直前特異の可能性も考えましたが、全前兆が完全終息していた期間は5時間程度であることから、前兆前兆の終息が近い様ですが、4/9 夕刻段階では未だ前兆期間中で、静穏期間前である見解となりました。

このことから、あらためて前兆の関係を見直しました。上図前兆出現状況図No.1778にはK6-PBF, CH32揃前兆も加えました。全体から4/20±の可能性は見えます。仮に3/21.5極大が最終極大であり、4/20±発生となる場合には現在継続出現中のCH17, 20 の前兆が4/12夜～4/13



- ◆推定領域：右図 点線内領域＝大枠 太線領域内＝可能性考え易い領域 (ある程度火山に近い領域の可能性有)
- ◆推定規模：M7.8±0.5
- ◆推定時期：4月13日又は15日前兆終息が観測された場合＝4月20日±
- ◇推定地震種：震源が浅い(30km以浅) 日本列島陸域地殻地震
- ◇推定発生時刻：午前9時±1時間 (又は午後6時±3時間)
- ※解析誤認で推定領域、規模等が実際と異なる場合は平に陳謝致します。



に終息する可能性が計算できます。但し 4/1のCH21は小ピークである可能性も否定できません。この場合には4/15±迄CH21は継続する可能性も有。今後を観測し続報させて戴きます。